



新庁舎車庫前で行われた落成を祝うテープカット

0人が参加し、長谷川市長から「新庁舎の完成により、きめ細やかで力強い消防行政ができる」と確信している」と式辞が述べられた後、長

新たな消防行政の要 ―「根室市消防新庁舎」が落成10/14―

昭和37年に、朝日町に建設された消防庁舎が築後48年を経過し、施設の老朽化に加え、消防車両等の保有台数の増加などによる狭あい化のため、旧市役所第2庁舎の改修と車庫の増築が進められていた消防新庁舎が完成し、落成式が行われました。

落成式には関係者約100



10月7日には長谷川市長が新庁舎を視察

谷川市長と来賓者によるテープカットが行われ、新たな防災拠点の完成を祝いました。新庁舎の消防管理棟には、職員のプライバシーの保護をはじめとした仮眠室や出勤時に態勢が素早く整う十分なスペースが確保され、消防車庫棟は、車両13台が格納できる車庫と屋外ホース乾燥塔などが配置されています。

また、最新の情報通信技術を駆使した「消防緊急通信司令システム」が導入されるなど、さらなる消防力が強化され、消防行政の要として、市民皆さんの大切な生命と財産を守っていきます。



地域の防災意識の向上へ ―第43回道東都市町内会長大会10/12―

道東6市による町内会長大会が文化会館で開かれ、約280人が参加しました。開会式では、根室市町会連合会会長の長谷川大会長から「災害被害を小さくするには、町会を中心にした地域力が重要」と呼び掛けられました。

記念講演では、講師を努めた石垣副市長が自身の体験談として、東日本大震災の被災などが紹介され「町会活動に当たる地域のリーダーが、災害から人々を守るリーダーになってほしい」と訴えました。

続いてパネルディスカッションも行われ、参加した各市の町会のリーダーは、大会を通じて災害に強いまちづくりへの認識を高めていきました。

開催期間中に行われた猪熊学芸員による展示解説には多くの市民が参加し、今回の記念パネル展に贈られたリンドバーグ夫妻の次女のリーヴ・リンドバーグさんからのお祝いとお礼のメッセージも披露されました。

会場には、当時の様子を知らる市民も多く詰めかけ、展示された当時の写真を眺め思いをはせていました。

当時の記憶に思いをはせて ―リンドバーグ来日80周年記念パネル展 10/5〜11―

リンドバーグ夫妻が北太平洋を横断飛行し、根室を訪れて今年で80周年になるのを記念したパネル展が総合文化会館で開かれ、歴史と自然の資料館に所蔵されている当時の資料や写真、飛行模型など数十点が公開されました。



ひとりでも多くの人へ ―福祉講演会 10/19―

「みんなちがって、みんないい」著者であり、「五体不満足」著者であり、スポーツライターなど幅広い活動を行う作家の乙武洋匡さんの講演会が、総合文化会館で開かれ、約900人の市民が参加しました。

講演は、プロフィール紹介から始まり、子育てでエピソードや小学校での勤務経験などが話され、ユーモアを交えつつ観客を引き込む乙武さんの話に、来場者の中には、感動し涙を流す姿も見られました。

講演の最後には、今回の演題「みんなちがって、みんないい」というメッセージを、これからも多くの人に伝えていきたいとの言葉で締めくくられ、会場からは大きな拍手が送られました。